

Noto PLUS

11



広報のと 第129号

平成27年11月1日発行

発行：能登町 編集：広報情報推進課
〒927-0492 石川県鳳珠郡能登町宇出津新1字1-97番地1

☎：0768-62-10000
能登町 URL：http://www.town.noto.lg.jp
Eメール：info@town.noto.lg.jp

能登の里山振興に尽くした30年

共に歩んだイチヨウへの思いを歌に



誤の日々を振り返ります。

現在では4・2畝の広さに約千本の木が植えられ、県内最大級の産地となりました。期待してくれる人に確実に届けるために、収穫したギンナンは一度に出荷せず、翌春まで一定の量を供給し続けられるよう、冷蔵するなど細かく管理しています。

長年苦勞した分、イチヨウに対する愛情は格別です。自らが作詞した歌には「桃栗三年柿八年、イチヨウのばかたれ20年」と、手荒い言葉ながらも、共に歩んできたイチヨウへの思いを込めました。「苦勞することもあるけど、成長を目にするのは楽しい」と目を細めます。イチヨウは11月上旬に紅葉して見ごろを迎え、一面黄色の世界が広がります。



自主製作したCD

国

重でイチヨウを栽培し、ギンナンを出荷している恋路の松本光雄さんが、能登の里山のPRにつなげようと自主製作CD「能登路のオオ！銀杏」を作成しました。取引先に配布したほか、イベントの際にBGMとして活用する予定です。松本さんは現在82歳。約30年前からイチヨウの栽培を始めました。地域で栽培できる品目を探していたところ、イチヨウが目が止まりました。

「消毒の必要がないため費用がかからず、自然環境への負荷も小さく最適」と考えて栽培を始めましたが、当時は国内で本格的に取り組んでいる地域が少なく、手探りでノウハウになりました。イチヨウは生命力が強いものの、10年経っても木が小さく、わずかししか収穫できません。農園が軌道に乗るまでに20年を要しました。「収穫までこんなに時間がかかると思わなかった」と試行錯誤

皆さんの力でのっとりんを全国へ！



みんなのアイドルのっとりんが、「ゆるキャラグランプリ2015」に参戦しました。全国の人に町の魅力を知ってもらうチャンスです。みなさんの投票で高順位を目指しましょう。

投票締切間近
11月16日
まで！

投票は11月16日(月) 18:00まで。1日1回の投票をお願いします！

公式サイト：http://www.yurugg.jp/ または右のQRコードからアクセスしてください。



- 1 携帯電話やパソコンから公式サイトへアクセス
- 2 メールアドレスを登録(初回のみ)
- 3 登録したアドレスで1日1回投票しましょう！



「広報のと」11月号の印刷費は一部当たり21円です。

